# 令和５年度　シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

## 福祉

| 教　科 | 科　目 | 単位数 | 履修年次・選択群 | 履修区分 |
|---|---|---|---|---|
| 福　祉 | コミュニケーション技術 | ２ | ２年次・Ｆ１群 | 選択 |

| 使用教科書（出版社） | 副教材（準備するもの） | 履修の条件・連絡 |
|---|---|---|
| コミュニケーション技術（実教出版） | 介護福祉士実務者研修テキスト第２巻<br>介護Ⅰ（中央法規） | 福祉サービス系列の生徒は必ず履修する。 |

### １　科目の目標と評価の観点

| 目　　標 | | |
|---|---|---|
| 福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うなどを通して、対人援助や福祉実践の場での人間関係の構築に必要な資質・能力を育てる。 | | |
| **評価の観点及びその主旨** | | |
| **１．知識・技術** | **２．思考・判断・表現** | **３．主体的に学習に取り組む態度** |
| 対人援助について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。 | 対人援助の展開に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。 | 健全で持続的な社会の構築を目指して自ら学び、適切な対人援助に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 |

### ２　学習計画と観点別評価項目

| | 学期 | 学習内容（単元・項目） | | 月 | 学習のねらい | 評価の観点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習の年間計画 | １学期 | 第１編<br>介護におけるコミュニケーション | 第１章　コミュニケーションの意義と役割<br>１　人間の理解と人間関係 | ４ | ・他者理解と自己理解、自己覚知、自己開示の必要性について理解する。 | １２ |
| | | | ２　コミュニケーションとは | | ・コミュニケーションの意義・目的・役割について理解する。 | １２ |
| | | | 第２章　コミュニケーションの基本技術<br>１　言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション | | ・言語的コミュニケーションや非言語的コミュニケーションの意義や役割について理解する。 | １２３ |
| | | | ２　受容と共感 | ５ | ・傾聴、受容、共感、効果的な質問等、演習をとおして理解する。 | １２３ |
| | | | ３　対人援助におけるコミュニケーションの実際 | | ・対人援助に必要な基本的なコミュニケーションの技術を実践し、理解する。 | １２３ |
| | | | 第３章　援助の技法とコミュニケーション<br>１　個別援助としてのコミュニケーション | ６ | ・個別的な援助の意義や役割について理解する。 | １２３ |
| | | | ２　集団援助としてのコミュニケーション | | ・集団的な援助の意義や役割について理解する。 | １２３ |
| | | 第２編<br>サービス利用者や家族とのコミュニケーション | 第１章　サービス利用者や家族との関係づくり<br>１　利用者や家族との関係づくり | ７ | ・利用者や家族とのコミュニケーションの必要性と重要性を理解する。 | １２３ |
| | | | ２　家族への支援 | | ・相談・助言・指導時の原則やコミュニケーション技法を理解する。 | １２３ |
| | ２学期 | 第２編<br>サービス利用者や家族とのコミュニケーション | 第２章　サービス利用者に応じたコミュニケーション<br>１　高齢者とのコミュニケーション | ９ | ・高齢者のコミュニケーションの特性を理解する。 | １２ |
| | | | ２　障害とコミュニケーション | | ・障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２ |
| | | | ３　視覚障害のある人とのコミュニケーション | １０ | ・視覚障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |
| | | | ４　聴覚障害のある人とのコミュニケーション | | ・聴覚障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |
| | | | ５　言語障害のある人とのコミュニケーション | １１ | ・言語障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |
| | | | ６　運動機能障害のある人とのコミュニケーション | | ・運動機能障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |
| | | | ７　知的障害のある人とのコミュニケーション | | ・知的障害のある人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |

# 令和５年度　シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ８　認知症の人とのコミュニケーション | 12 | ・認知症の人とかかわる基本姿勢について理解する。 | １２３ |
| | ３学期 | 第３編 介護におけるチームのコミュニケーション | 第１章　記録<br>１　記録の意義と目的<br>２　記録の種類<br>３　記録の方法と管理<br>４　振り返り<br>第２章　チームによる連携<br>１　チームのコミュニケーション<br>２　情報の共有化<br>３　会議による情報の共有化<br>第３章　スーパービジョンの技法<br>１　スーパービジョンとは<br>２　スーパービジョンの方法 | 1<br><br><br><br><br>2<br><br><br><br>3 | ・客観的な記録が利用者理解につながることを理解する。<br>・介護に関する記録の種類と内容について理解する。<br>・記録の書き方と留意点を理解する。<br>・介護内容の振り返りと見直しの技術について理解する。<br>・チームにおけるコミュニケーションの目的と重要性を理解する。<br>・チームで情報の共有化をはかる意義と目的を理解する。<br>・会議の目的と意義について理解する。<br>・スーパービジョンの意味と機能について理解する。<br>・スーパービジョンの方法とその効果を理解する。 | １２<br>１２<br>１２<br>１２<br>１２<br>１２<br>１２３<br>１２<br>１２３ |

| 学習評価 | 観点 | １．知識・技術 | ２．思考・判断・表現 | ３．主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|---|
| | 規準 | ○教科書の内容等を理解できているか。<br>○福祉に関係する技術を身に付けているか。 | ○学習内容を適切に活用し、表現できているか。<br>○学習内容を関連付けて考えることができているか。<br>○福祉に関する課題を発見し、福祉専門職としての倫理観を踏まえて解決する力を身に付けているか。 | ○学習内容に興味、関心をもち、内容を考察し、自ら調べようとしているか。<br>○積極的に課題解決に向けて、取り組んでいるか。<br>○自らの学習や生活に生かそうと意欲をもって取り組んでいるか。 |
| | 手段 | ・ワークシート、ノート、課題<br>・定期考査、小テスト<br>・授業態度 | ・ワークシート、ノート、課題<br>・定期考査、小テスト<br>・授業態度 | ・ワークシート、ノート、課題<br>・定期考査、小テスト<br>・授業態度 |
| | 単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法 | 単元末、学期末ごとに評価を総括し、年次末に単元末と、学期末の総括を行い評価する。 | | |

| | |
|---|---|
| 学習上の留意点 | ・毎時間、積極的に学習に取り組むこと。<br>・提出物は内容を確認し、できていることを確認して期日厳守で提出すること。<br>・定期考査では、しっかりと復習をして臨むこと。 |